

## 第 4 章 プロジェクトの妥当性の検証

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

### 4-1 プロジェクトの効果

内戦終結後のモザンビーク国では「経済開発5カ年計画(1995-99)」を策定し、教育・保健医療・農村開発を中心課題とした経済開発を行っている。これを受けた教育省では「教育セクター戦略計画 1999-2003」により、基礎教育の機会拡大、教育の質の向上、体制・財政の改善、を重点課題として教育分野開発を進めている。特に中等教育分野では経済発展の担い手となる高学歴者へのニーズ拡大に対して、中学入学者数の倍増を目標としている。

マプト市は近年の人口増加傾向から全国的にも学校不足の状況に悩まされており、大部分の学校で3部制授業を余儀なくされている。この傾向は急速にスプロール化が進む4、5区の都市周縁部で顕著となっており、また中学校についても同様に4、5区における不足状況が著しい。本計画において、これらの地域での小中学校の建設と教材の供与を行うことで、以下のようなプロジェクトの効果が期待できる。

#### 小学校新設および建て替えによる教育環境の改善

マプト市全体で92%の小学校で3部制授業を余儀なくされ、授業時間の長さ(2部制と比べ80%)から教育の質の低下を招いている。また既存校では施設の劣化が著しく、机・椅子がなく子供は土間で授業を受けている、など劣悪な学習環境となっている。

本計画では5校の新設、2校の建て替えにより計112教室が新設され、11,200人の生徒の教育環境が改善され、直接的な効果を受ける。また、計画サイト周辺の既存校では計画校に生徒が移ることで198教室において3部制授業が解消され間接的に19,800人の生徒の教育環境が改善される。

#### 中学校新設による教育環境の改善

マプト市では中学校の整備が遅れており、マプト市には11中学校があるもののその多くは1区に集中しており4、5区には1校ずつがあるのみで、これらの区の生徒にとって就学の障害となっている。

本計画では人口増加の著しい4、5区のそれぞれに1校ずつ、計24教室が新設され、直接的に1,920人の就学機会の増大、現在の生徒数の6.6%増加となる。

#### 教材整備による学習効果の向上

図表類などの展示用補助教材による教育効果は大きいことは明らかなが、現在、多くの学校では教材を備えておらず、黒板と教科書のみで授業を行っている。また教科書の配布も100%とはいえず、特に中学校での教科書所有状況は悪い。

本計画では初等・中等ともに実演用、展示用教材の供与することで学習効果の大きな向上が期待できる。特に中学校では理科室の供与とともに理科教材の供与を行い、相乗効果により理科教育の質の向上に寄与する。

#### 公衆衛生環境の改善

マプト市ではもともと簡易浄化槽による水洗トイレが普及していたが、多くの学校で老朽化により使用できなくなっていて、代わりに穴を簡単に囲っただけの簡易なトイレでしのいでいる。このため、学校内の衛生環境の悪化を招いている。

本計画では市水給水可能なサイトでは簡易浄化槽による水洗式トイレを、水の無いサイトでは汲み取り式トイレを供与する。これにより衛生環境の改善がなされる。また給水可能なサイトでは手洗いを設け、用便後の手洗いを習慣化することで衛生教育の効果も期待できる。また男女別の便所とするので、女子生徒の就学アクセスの改善を図ることができる。

#### 地域社会への裨益効果

マプト市では中学校の施設不足を補うため3部制授業をしており、夜間も正規の授業に使用しているため、夜間の空きを利用した制度外教育などの機会が奪われている状況にある。

本計画の実施により識字などの制度外教育や地域コミュニティの集会など多様な地域活動の機会の拡大が期待できる。

## 4-2 課題と提言

計画実施後の運営については、相手国側の体制は人員、技術、予算ともに持続的に実施することが可能であるが、今後、本計画事業がより円滑、効果的に実施されるために、モザンビーク国側が取り組むべき課題として以下のようなものが考えられる。

#### 教員の確保・再教育訓練

本計画の実施には小学校では213名、中学校では60名の教員新規採用が必要となるが、教員養成学校や教育大学の卒業生数を考えれば、十分に可能であると考えられる。ただし、マプト市にはまだ小学校394名、中学校131名の無資格教員がおり、教育の質向上のためには、これらの無資格教員の再教育を続けていくことが必要である。

#### 中学校理科室の活用

中学校の理科にはカリキュラム上、実験を伴う授業が定められているものの、現在はまだまだあまり授業に組み込まれてない。しかし、教育の質の向上を進めるために必要であり、今後は積極的に取り入れる方針であり、現在理科実験が可能な教員養成も進められていることを評価し、本計画でも中学校を対象に理科室を整

備し、また一部の機材も供与する。モザンビーク側はその他に必要な実験機材、試薬・消耗品の調達・確保し、理科実験授業を実施できる教員を採用することが求められる。理科室は普通教室より十分に大きいため、会議、グループ・ディスカッションなど教科を超えて多様な活用をすることが望まれる。

#### Magoanine 地区でのインフラ整備の推進

Magoanine 地区は 2000 年の大洪水による避難民の再定住地区であり、電気などの都市インフラ設備は未整備である。しかし、同地域の居住人口は避難民以外にも過密化した旧市街からの移住により計画を上回るペースで拡大しているため、学校施設の夜間利用のニーズも早晩起こると予想される。については早期の電力供給整備が望まれる。

また、わが国の技術協力や他ドナーとの連携についての提言は以下のようになる。

#### 技術協力

マプト市ではいまだに小学校教員の 10.5%、中学校教員の 19.0%が無資格となっている。「初等教育の完全普及」や「中学入学者数の倍増」を達成するためには、施設建設のみならず教員養成、特に現職教員の再教育を積極的に進める必要がある。

これら現職教員の再教育に対する技術協力は、教育の質改善への高い効果が期待できる。特に理科実験についてはカリキュラムとして定められているものの、現在はまだまだ実施されおらず、実験を伴う教育実習、実技訓練を行う技術協力は直接的で具体的な効果が期待できるものと考えられる。なお、この分野の協力として、EM 大学における理科実験教育へのドイツ技術協力の先例がある。

#### 他ドナーとの連携

同国の教育分野に対する他ドナーの協力のうち、大きな割合を占めるものとして、教育省の「教育セクター戦略計画(ESSP) 1999-2003」を包括的に支援する世界銀行による「教育セクター開発計画(ESDP) 1999-2003」、および SIDA スウェーデンによる学校基金(Caixa Escolar)がある。

マプト市での世界銀行による施設整備は「第 2 期教育プロジェクト 1991-1998」で終了しており、現在は「教育セクター開発計画(ESDP) 1999-2003」による地方の小中学校建設・改修を中心に実施しており、本計画とは重複しない。

SIDA スウェーデンは学校基金プロジェクトで教科書の配布、職業・成人教育支援、EM 大学支援を中心にソフト面での援助を続けている。本計画による施設建設と SIDA によるソフト面での連携は可能と考えられる。

#### 4-3 プロジェクトの妥当性

以下のようにして本計画はわが国の無償資金協力による協力対象事業の実施が妥当であると判断される。

- 裨益対象はマプト市周縁部に住む一般市民の子弟であり、初等教育については 30,000 人が直接または間接に裨益生徒数となり、また中等教育については 1,920 人が直接の裨益生徒数となる。(4-1 参照)
- プロジェクト目標はモザンビーク国の教育の質向上および機会の拡大であり、内戦復興中の同国の経済発展、国民生活の安定を進めることである。
- 本計画のインプットは初等および中等教育施設の整備であり、極力、維持費の掛からない計画としており、既存校の運営維持費で管理が可能である。また供与する機材も彼らの技術レベルに適ったもので維持管理の容易なものを選定しており、特別な技術が必要ないものとなっている。
- 本計画はモザンビーク国の長期開発計画に則り、教育の質の改善に寄与する公共的なものであり、収益性が問われるプロジェクトではない。
- また、本計画は環境面での負荷がなるべく少ないよう配慮された計画であり、わが国の無償資金協力の枠内で十分に実施可能なプロジェクトである。

#### 4-4 結論

本計画はこれまでに述べてきたように多大の効果が期待され、同時に広くマプト市に対する初等中等教育改善に寄与することから無償資金協力事業として実施することが妥当であると判断される。本施設の運営管理についても問題ないものと思われるが、先に述べたように「教員の確保・再教育訓練」「理科室の活用」「Magoanine 地区のインフラ整備の推進」が進められることでより高い効果が期待できる。

## 1.調査団員氏名

### 1-1.基本設計調査

- 総括 下村 則夫 JICA 無償資金協力部次長
- 計画管理 中村 浩孝 JICA 無償資金協力部業務 1課
- 協力計画 下平 明子 JICA 南アフリカ事務所
- 業務主任/建築機材計画 河辺 泰章 (株)マツダコンサルタンツ
- 社会環境/教育計画 守屋 幡司 (有)スガタコンサルタンツ
- 施設 設備計画 井口 博之 (株)マツダコンサルタンツ
- 施工 調達計画/積算 川添 健治 (株)マツダコンサルタンツ
- 通訳 福島 淑子 (株)マツダコンサルタンツ

### 1-2.基本設計概要説明調査

- 総括 丸尾 祐治  
JICA 南アフリカ事務所 上級技術顧問
- 計画管理 荒 仁 JICA 無償資金協力部業務 1課
- 業務主任/建築機材計画 河辺 泰章 (株)マツダコンサルタンツ
- 施工 調達計画/積算 川添 健治 (株)マツダコンサルタンツ
- 通訳 福島 淑子 (株)マツダコンサルタンツ

2. 調査行程

2.1 基本設計調査

			官団員		コンサルタント団員			
			総括	計画管理 協力計画	業務主任/建築機 材計画	教育計画	施設設備計画	施工 調達計画/ 積算
1	10月10日	火			東京 シンガポール(SQ997)			
2	10月11日	水			シンガポール ヨハネスブルグ(SQ406) JICA南ア事務所表敬 単価調査書配布、説明			
2	10月12日	木			ヨハネスブルグ マプト(SA144)			
3	10月13日	金			在モザンビーク日本大使館表敬訪問 外務協力省表敬訪問 MINED協議(インセプション説明、質疑書提出、調査日程調整)			
5	10月14日	土			Bagamoyoサイト事前視察			
6	10月15日	日			資料整理			
7	10月16日	月			単価調査書配布、説明 MINED協議(要請内容確認、実施体制など)			
8	10月17日	火			要請サイトの確認 25 de Junhoサイト調査			
9	10月18日	水			Bagamoyoサイト調査 MINED協議(資料請求など)			
10	10月19日	木			Magoanineサイト調査 Albaziniサイト調査			
11	10月20日	金			3 de Fevereiro(ESG)サイト調査 MINED協議(原要請のサイト調査結果報告、資料請求)			
12	10月21日	土	東京 シンガポール		資料整理			
13	10月22日	日	シンガポール ヨハネスブルグ		資料整理			
14	10月23日	月			MINED協議(資料請求、Magoanine地区背景など) 既存小中学校(Lhanguene校、Unidade11,16校、Aeroporto校)視察			
15	10月24日	火	ヨハネスブルグ マプト 在モザンビーク日本大使館表敬 調査中間報告、団内会議		MINED協議(追加要請サイト)			
16	10月25日	水			MINED協議(団長よりインセプション説明、Magoanine、Albazini地区について協議) マプト市役所(Magoanine地区の状況) WB実施校(Malhazine小学校および中学校)視察			
17	10月26日	木			WBヒアリング	Unidade 11サイト調査 Unidade 16サイト調査		
18	10月27日	金			SDAヒアリング	Costa do Sol、Aeroporto 、Unidade 2サイト調査		
19	10月28日	土			Magoanine地区、Bagamoyoサイト視察			
19	10月28日	土			資料整理			
20	10月29日	日			資料整理			
21	10月30日	月			MINED協議(サイト調査結果報告、ラボ設置について協議)			
21	10月30日	月				MINED協議(教育事情聴取)	3 de Fevereiro(EP)、Unidade 18 サイト調査	
22	10月31日	火				統計局、BPヒアリング	資料整理	
22	10月31日	火			MINEDにてミニッツ署名			
23	11月1日	水				INDE、NGO協会、ADPP	GEPEヒアリング(建設基準など)	

			官団員		コンサルタント団員			
			総括	計画管理 協力計画	業務主任/建築機 材計画	教育計画	施設設備計画	施工 調達計画/ 積算
					EM大学視察		・マプト市教育局	
24	11月2日	木	在モザンビーク日本大使館報告 ・マプト ヨハネスブルグ		施設計画 に同じ	UNICEF、WFP ホルガル訪問	・サイト周辺の既存校調査	
25	11月3日	金			MINED協議(調査結果報告、依頼事項の確認)			
					施設計画 に同じ	NGO協会 EM大学訪問	・Magoanine地区既存校視察	
26	11月4日	土	ヨハネスブルグ		資料整理			
27	11月5日	日	シンガポール 東京		資料整理			
28	11月6日	月			シプトウトウユニ教員養成校視察			
					・マプト市教育局			
29	11月7日	火			在モザンビーク日本大使館報告 ・マプト市教育局協議(調査結果報告、依頼事項の確認)		建設事情調査	
30	11月8日	水			・マプト ヨハネスブルグ(陸路585km)			
31	11月9日	木			建設資機材調達調査			
32	11月10日	金			建設資機材調達調査 JICA南ア事務所報告			
33	11月11日	土			資料整理			
34	11月12日	日			・ヨハネスブルグ シンガポール(SQ405)			
35	11月13日	月			シンガポール 東京 (SQ012)			



## 2.2 基本設計概要説明調査

				官団員		コンサルタント団員		
	総括	計画管理	協力計画	業務主任/建築機 材計画	施工	調達計画/ 積算		
1	2月15日	木	東京 シンガポール(SQ997)					
2	2月16日	金	シンガポール ヨハネスブルグ(SQ406) JICA南ア事務所表敬 建設事情調査					
2	2月17日	土	ヨハネスブルグ マプト(SA144)					
3	2月18日	日	資料整理					
4	2月19日	月	在モザンビーク日本大使館表敬訪問 外務協力省表敬訪問 MINED協議(インセプション説明、質疑書提出、調査日程調整)					
5	2月20日	火	サイト調査(Maganineほか) MINED協議					
6	2月21日	水	サイト調査(Costa do Solほか) MINED協議					
7	2月22日	木	既存校調査 MINED協議(教育機材、設計内容)					
8	2月23日	金	ミッツ署名 日本大使館報告					
9	2月24日	土	マプト ヨハネスバーグ(SA143)					
10	2月25日	日	ヨハネスブルグ					
11	2月26日	月	シンガポール(SQ405) シンガポール					
12	2月27日	火	東京(SQ998)					

### 3. 面談者リスト

Ministério da Educação 教育省

Dr. Alcido Ngwenya                      Ministro  
大臣  
Mr. Cremildo Binana                      Chefe do Coopreacao Internacional  
国際協力部部長

Direcção de Planificação 教育省計画局

Mr. Virgilio Juvane                      Director de Planificacao  
計画局局长  
Mr. Andre Utui                              Técnico de Planificacao  
計画局計画部技官  
Mr. Ilidio Buduia                          Chefe do Departamento de Estatística  
計画局統計部部長  
Mr. Alberto Siteo                          Técnico de Planificacao  
計画局計画部技官  
Mr. Filipe Pedro                            Departmentto do Internacional Cooperacao  
国際協力部

Gabinete Técnico de Gestão de Projectos Educacionais (GEPE)

教育プロジェクト管理室

Mr. Hermínio Manuel Malate              Director  
室長

Ministério dos Negócios Estrangeiros e Cooperação                      外務協力省

Mr. Artur Jossefa Jamo                      Director-Adjunto do Direccao para Aaia e Oceania  
アジアオセアニア局副局長  
Mr. Hermengildo J. Caetano                      First Secretary, Direccao para Aaia e Oceania  
アジアオセアニア局書記官  
Mr. David Eugénio Manjate                      Tradutor Oficial/Interprete  
通訳

Direcção de Educação da Cidade マプト市教育局

Mr. Samuel Miguel Modumela              Director de Direccao de Educacao da Cidade  
市教育局局長

Mr. Antonio José Matlombe      Chefe de D. Direccao  
市教育局計画部部長

Mr. Joao Machaluco      Chefe de UME  
メンテナンス・建設部部長

Ms. Dirce Nurmahomed      Chefe de ROM  
ROM 部長

Mr. Luis Simao      Director de District 4  
4 区教育局局長

Mr. Gediao Jamo      Director de District 5  
5 区教育局局長

Município de Maputo      マプト市

Mr. Artur Hussene Canana      Presidente do Conselho Municipal  
マプト市長

Mr. Quive Samuel      Assessor do Presidente  
市長顧問

Ms. Marcelina Chai-Chai      Secretaria Executiva do Gabinete de Apoio às  
Vítimas das Cheias  
洪水被災者支援委員会事務局長

Mr. Samuel Chivoze      Comissão dos moradores, Magoanine  
Magoanine 住民委員

3 de Fevereiro Escola Primaria      3 de Fevereiro 小学校

Mr. Hilario Genginio Manlique      Director-Adjunto Pedagógico  
副校長(教務担当)

Franco Manyanga Escola Secundaria Franco Manyanga      中学校

Dr. Palmira Pinto      General Director  
教務主任

Dr. Afonso Safrão      Chefe da Quimaca  
化学主任

Instituto Nacional do Desenvolvimento da Educaçao(INDE)      国立教育開発研究所

Mr. Simao Mucavele      Director

World Bank 世界銀行マプト事務所

Mr. Noel Kulemeko      Social Sector Operations Officer

Swedish International Development Agency(SIDA) スウェーデン国際協力庁  
Ms. Karen Anderson

Aid from People to People(ADPP)  
Mr. Armondo Inacio

UNICEF 国連児童基金  
Mr. Carlos Alberto dos Santos Education Project Officer

WFP 国連食糧計画  
Mr. Philippe Serge Dagernier VAN Associate Officer

Universidade de Eduardo Mondlane 総合大学教育学部  
Prof. Mouzinho Mario Chairman, Committee for Preparation of Faculty Education  
教育学部設立準備委員会議長

Portuguse Cultural Centre ポルトガル文化センター  
Mr. Antonio Braga Culture Attache

Embassy of Japan 在モザンビーク国日本大使館  
野瀬 芳宏 大使  
長島 浩平 公使  
佐藤 卓央 書記官

JICA South Africa Office JICA 南アフリカ共和国事務所  
高橋嘉行 所長  
今村嘉宏 所員

## 4. 当該国の社会経済状況

モザンビーク共和国
Republic of Mozambique

一般指標					
政体	共和制	*1	首都	マプト (Maputo)	*2
元首	大統領/ジョアキン・アルベルト・チサノ	*1,3	主要都市名	ベイラ、ナムブラ、テテ、モザンビーク	*3
			雇用総数	8,812千人 (1998年)	*6
独立年月日	1975年6月25日	*3,4	義務教育年数	7年間 (年)	*13
主要民族/部族名	マクアロムウエ人40%、ソカ人25%等	*1,3	初等教育就学率	60.2% (1997年)	*6
主要言語	ポルトガル語	*1,3	中等教育就学率	7.1% (1997年)	*6
宗教	キリスト教53%、イスラム教17.8%、原始宗教	*1,3	成人非識字率	56.2% (2000年)	*13
国連加盟年	1975年9月16日	*12	人口密度	21.61人/km2 (1998年)	*6
世銀加盟年	1948年9月	*7	人口増加率	1.9% (1980年)	*6
IMF加盟年		*7	平均寿命	平均 45.20 男 43.90 女 46.60	*6
国土面積	802.00千km2	*6	5歳児未満死亡率	213/1000 (1998年)	*6
総人口	16,947千人 (1998年)	*6	カロリー供給量	1,799.0 cal/日/人 (1996年)	*10

経済指標					
通貨単位	メティカル(Metical)	*3	貿易量	(1996年)	
為替レート	1 US \$ = 16,946.00 (2000年12月)	*8	商品輸出	226.1百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	-704.4百万ドル	*15
国家予算	(年)		輸入カバー率	(月) (1997年)	*14
歳入総額		*9	主要輸出品目	えび、カシューナッツ、砂糖、綿花	*1
歳出総額		*9	主要輸入品目	一般消費材(主に食糧)、原油	*1
総合収支	-368.5百万ドル (1996年)	*15	日本への輸出	百万ドル (年)	*16
ODA受取額	1,039.3百万ドル (1998年)	*18	日本からの輸入	百万ドル (年)	*16
国内総生産(GDP)	3,893.07百万ドル (1998年)	*6			
一人当たりGNP	210.0ドル (1998年)	*6	粗外貨準備額	0.0百万ドル (1998年)	*6
GDP産業別構成	農業 34.3% (1998年)	*6	対外債務残高	8,208.3百万ドル (1998年)	*6
	鉱工業 20.8% (1998年)	*6	対外債務返済率(DSR)	18.0% (1998年)	*6
	サービス業 44.8% (1998年)	*6	インフレ率 (消費者価格物価上昇率)	44.6% (1990-98年)	*6
産業別雇用	農業 男 % 女 % (1992年)	*6			
	鉱工業 % % (1992年)	*6			
	サービス業 % % (1992年)	*6	国家開発計画		*11
実質GDP成長率	5.7% (1990年)	*6			

気象 (1961年～1990年平均) 観測地：マプト (南緯25度55分、東経32度34分、標高44m)														*4,5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
降水量	174.4	139.4	95.9	54.6	28.5	14.2	20.4	14.0	41.7	65.1	74.6	76.0	798.8 mm	
平均気温	26.4	26.2	25.6	23.5	21.5	18.9	18.9	20.0	21.5	22.5	23.8	25.4	22.9℃	

\*1 各国概況 (外務省)

\*2 世界の国々一覧表 (外務省)

\*3 世界年鑑2000 (共同通信社)

\*4 最新世界各国要覧10訂版 (東京書籍)

\*5 理科年表2000 (国立天文台編)

\*6 World Development Indicators2000

\*7 The World Bank Public Information Center,  
International Financial Statistics Yearbook 1998

\*8 Universal Currency Converter

\*9 Government Finances Statistics Yearbook1998 (IMF)

\*10 Human Development Report1999(UNDP)

\*11 Country Profile(EIU),外務省資料等

\*12 United Nations Member States

\*13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)

\*14 Global Development Finance1999(WB)

\*15 International Finances Statistics 1999(IMF)

\*16 世界各国経済情報ファイル1999(日本貿易振興会)

注：商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため  
支払い額はマイナス表記になる

モザンビーク共和国
Republic of Mozambique

我が国におけるODAの実績		(資金協力は約束額ベース、単位：億円)					*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		2.77	3.82	4.28	5.48		
無償資金協力		22.00	48.84	35.67	47.96		
有償資金協力		0.00	0.00	0.00	0.00		
総額		24.77	52.66	39.95	53.44		

当該国に対する我が国ODAの実績		(支出純額、単位：百万ドル)					*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		2.25	3.32	3.42	3.89		
無償資金協力		39.01	28.85	33.46	37.63		
有償資金協力		-1.50	-2.12	1.23	-0.92		
総額		39.76	30.04	38.12	40.60		

OECD 諸国の経済協力実績		(支出純額、単位：百万ドル)					*18
	贈与 (1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)		
二国間援助 (主要供与国)	713.9	-1.3	712.6	229.2	941.8		
1. Italy	110.6	0.0	110.6	-52.1	58.5		
2. Germany	82.6	2.6	85.2	35.5	120.7		
3. United States	70.5	0.0	70.5	1.0	71.5		
9. Japan	41.5	-0.9	40.6	0.0	40.6		
多国間援助 (主要援助機関)	109.7	219.5	329.2	10.7	339.9		
1. IDA			128.4	0.0	128.4		
2. EC			84.1	0.0	84.1		
その他			-2.5	0.0	-2.5		
合計	823.6	215.7	1,039.3	240.0	1,279.3		

援助受入窓口機関	*19
技術協力：外務・協力省	
無償：外務・協力省	
協力隊：	

\*17 我が国の政府開発援助1999(国際協力推進協会)

\*18 International Development Statistics (CD-ROM) 2000 OECD

\*19 JICA資料

5. 討議議事録  
5.1 基本設計調査

**MINUTES OF DISCUSSIONS  
BASIC DESIGN STUDY  
ON  
THE PROJECT  
FOR  
THE CONSTRUCTION OF PRIMARY AND SECONDARY SCHOOLS  
IN MAPUTO CITY  
IN  
THE REPUBLIC OF MOZAMBIQUE**

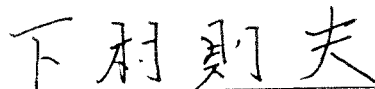
In response to a request from the Government of the Republic of Mozambique (hereinafter referred to as "GOM"), the Government of Japan has decided to conduct a Basic Design Study on the Project of the Construction of Primary & Secondary Schools in Maputo City in Mozambique (herein after referred to as "the Project"), and entrusted the study to Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA sent to Mozambique the Basic Design Study Team (hereinafter referred to as "the Team") headed by Mr. Norio SHIMOMURA, Deputy Managing Director, Grant Aid Management Department, JICA. The Team is scheduled to stay in Mozambique from the 13<sup>th</sup> October to the 8<sup>th</sup> November, 2000.

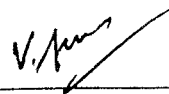
The Team held a series of discussions on the Project with the officials concerned of GOM and conducted a field survey at the project area.

As a result of discussions and field survey, both parties confirmed the main content of the Project described in the attached sheets. The Team will proceed to further work and prepare the Basic Design Study Report.

Maputo, October 31, 2000



Mr. Norio Shimomura  
Leader,  
Basic Design Study Team  
Japan International Cooperation Agency



Mr. Virgilio Juvane  
Director,  
Directorate of Planning  
Ministry of Education





## ATTACHMENT

### 1. Objective of the Project

The objective of the Project is to improve the educational environment of primary and secondary schools in suburban areas of the Maputo City, which undergoes recent expansion and concentration of the migrated population.

### 2. Responsible and Implementing Agencies

- (1) The Ministry of Education (hereinafter referred to as "the MINED") represented by the Directorate of Planning takes overall responsibility for the Project.
- (2) The Implementing Organization of the Project is the Directorate of Education of the Municipality of Maputo under the overall management of the Directorate of Planning of the MINED.

The organization charts of the responsible and implementing agencies are attached in ANNEX-1.

### 3. Project Sites

- (1) The five construction sites are as follows:

- a) 25 de Junho 1 (District 5, Secondary)
- b) Bagamoyo (District 5, Primary)
- c) Albazini (District 4, Primary)
- d) 3 de Fevereiro (District 4, Secondary)
- e) Magoanine (District 5, Primary).

The location of each area is shown in ANNEX-2.

- (2) In addition to the above five sites, the MINED made a request for the construction of the following six Primary Schools listed according to the priority order:

- a) 3 de Fevereiro (District 4)
- b) Costa do Sol (District 4)
- c) Unidade 2 (District 5)
- d) Unidade 16 (District 2)
- e) Unidade 11 (District 2)
- f) Bairro do Aeroporto (District 2)

The location of each area is shown in ANNEX-2

### 4. Items Requested by GOM

After series of discussions with the Team, GOM requested the content of the Project described as below. JICA will assess the appropriateness of the request and recommend to the Government of Japan for approval.

- (1) Construction of the Primary and Secondary School Buildings at the areas mentioned above (EP1, EP2, ESG-1)



(2) Major components of the school buildings and equipment are listed in ANNEX-3

### **5. Japan's Grant Aid Programme**

- (1) Mozambique side understood the system and characteristics of Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team, as described in ANNEX-4.
- (2) GOM side will take necessary measures, described in ANNEX-5 and 6 for the smooth implementation of the Project when Japan's grant aid is extended to the Project.

### **6. Schedule of the Study**

- (1) JICA will prepare the draft report in English and dispatch another team to Mozambique in order to explain its contents in January 2001.
- (2) Based on the discussion with Mozambican side JICA will complete the final report and submit it to GOM by May 2001.

### **7. Other relevant issues**

#### **7-1. Building Design**

Both sides agreed that the school building shall possess the function to meet the present educational environment.

#### **7-2. Land**

The Municipality of Maputo and the MINED has secured the land necessary for the Project.

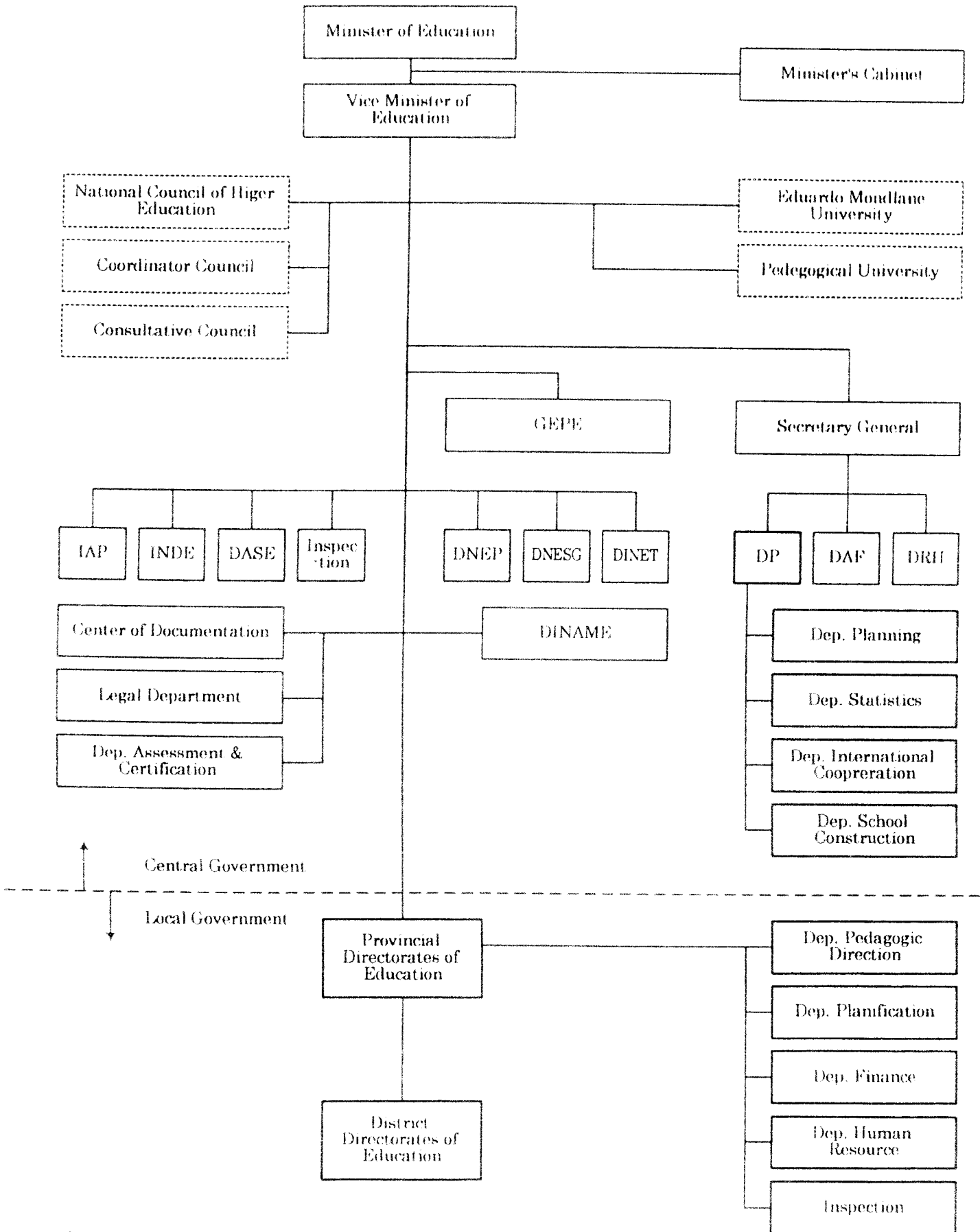
#### **7-3. Proper and Effective Operation**

The Municipality of Maputo and the MINED have assured to manage, operate, and maintain the schools under the Project properly and effectively, including allocation of staff and budget necessary for the Project.

#### **7-4. Supply of electricity and water in the project sites**

- (1) Concerning Albazini site, the MINED and the Municipality of Maputo agreed to allocate the budget to draw the electricity and water distribution lines to the Project site.
- (2) Regarding 3 de Fevereiro site, the MINED and the Municipality of Maputo agreed to allocate budget to build borehole in the school site.
- (3) Concerning Magoanine site, the MINED and the Municipality of Maputo agreed to allocate budget to build borehole and draw the electricity distribution line to the Project site.
- (4) Japanese side will be responsible to install electricity line and water pipes inside the school sites according to the necessity.

ANNEX-1: THE ORGANIZATION CHART OF THE RESPONSIBLE AND IMPLEMENTING AGENCY

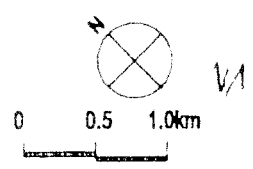
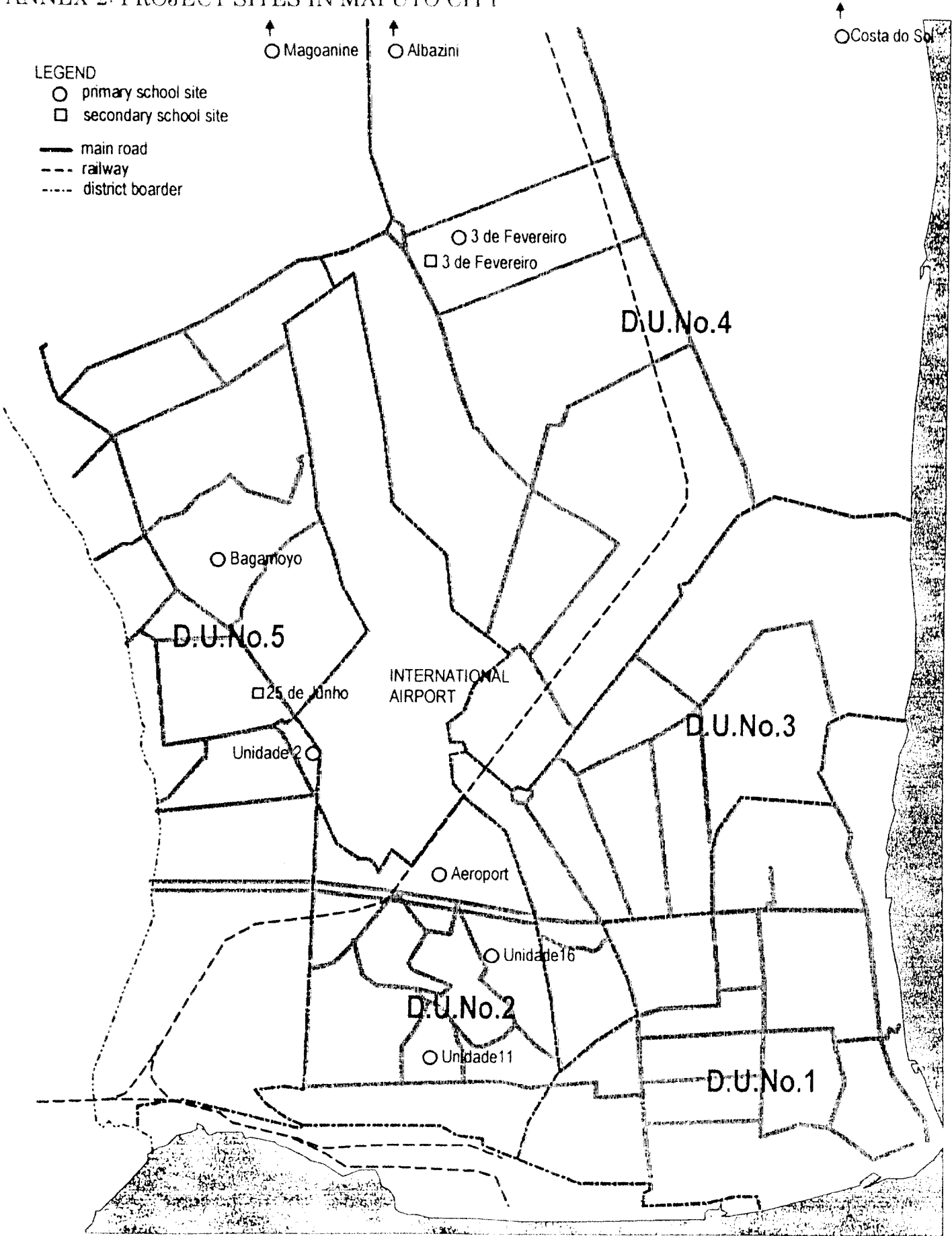


F. J. 1

VA

ANNEX-2: PROJECT SITES IN MAPUTO CITY

- LEGEND
- primary school site
  - secondary school site
  - main road
  - - - railway
  - · · · district boarder



F. J.

## ANNEX-3: MAJOR COMPONENTS REQUESTED IN THE PROJECT

### **1. Facilities**

(Primary School: EP1 and EP2)

- (1) Classrooms
- (2) Principal office
- (3) Vice-principal office
- (4) Administration office
- (5) Teachers room
- (6) Teaching aid room
- (7) Sanitary block

(Secondary School: ESG-1)

- (1) Classrooms
- (2) Principal office
- (3) Vice-principal office
- (4) Administration office
- (5) Teachers room
- (6) Teaching aid room
- (7) Sanitary block
- (8) Library
- (9) Gymnasium

### **2. Equipment**

(Primary School)

- (1) Desks and chairs

(Secondary School)

- (1) Desks and chairs

F.J.J.

V1

## ANNEX-4: JAPAN'S GRANT AID

### 1. Grant Aid Procedure

(1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.

- Application (Request made by a recipient country)
- Study (Basic Design Study conducted by JICA)
- Appraisal & Approval (Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
- Determination of Implementation (The Notes exchanged between the Governments of Japan and the recipient country)

(2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA to conduct a study on the request. If necessary, JICA send a Preliminary Study Team to the recipient country to confirm the contents of the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Programme, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

### 2. Basic Design Study

#### (1) Contents of the Study

The aim of the Basic Design Study (hereinafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Study are as follows:

- a) confirmation of the background, objectives and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;
- b) evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from the technical, social and economic points of view;

- c) confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project;
- d) preparation of a basic design of the Project; and
- e) estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

## (2) Selection of Consultants

For the smooth implementation of the Study, JICA uses a consulting firm selected through its own procedure (competitive proposal). The selected firm conducts the Study and prepares a report based upon the terms of reference set by JICA.

At the beginning of implementation after the Exchange of Notes, for the services of the Detailed Design and Construction Supervision of the Project, JICA recommends the same consulting firm which participated in the Study to the recipient country, in order to maintain the technical consistency between the Basic Design and Detailed Design.

## 3. Japan's Grant Aid Scheme

### (1) What is Grant Aid?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

### (2) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

- (3) "The period of the Grant" means the one fiscal year, which the Cabinet approves the project for. Within the fiscal year, all procedure such as exchanging of the Notes, concluding contracts with consulting firms and contractors and final payment to them must be completed. However, in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

(4) Under the Grant, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.

However, the prime contractors, namely consulting, contracting and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

(5) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability of Japanese taxpayers.

(6) Undertakings required to the Government of the recipient country

- a) to secure a lot of land necessary for the construction of the Project and to clear the site;
- b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the site;
- c) to ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in the recipient country and internal transportation therein of the products purchased under the Grant Aid;
- d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
- e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts such as facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work;
- f) to ensure that the facilities constructed and products purchased under the Grant Aid be maintained and used properly and effectively for the Project; and
- g) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant Aid, necessary for the Project.

(7) "Proper Use"

The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign the necessary staff for operation and maintenance of them as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(8) "Re-export"

The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.

(9) Banking Arrangement (B/A)

- a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.
- b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of recipient country or its designated authority.



## ANNEX-5 : NECESSARY MAJOR UNDERTAKINGS BY EACH GOVERNMENT

No	Items	To be covered By Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site		●
4	To construct the parking lot	●	
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the building	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity		
	a. The distributing line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2) Water Supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site ( receiving and/or elevated tanks )	●	
	3) Drainage		
	a. The city drainage main ( for storm, sewer and others ) to the site		●
	b. The drainage system ( for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others ) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone System		
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame / panel (MDF) of the building		●
b. The MDF and the extension after the frame / panel	●		
6) Furniture and Equipment			
a. General furniture		●	
b. Project equipment	●		
8	To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the Banking Arrangement (B/A)		
	1) Advising commission of Authorization to Pay (A/P)		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country		
	(8) Marine(Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	(9) Tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation		●
	(10) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	(●)	(●)

T-21

VI

## ANNEX-6: NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF MOZAMBIQUE

1. To provide data and information necessary for the Project.
2. To secure, clear, level and reclaim the site for the Project prior to the Project implementation.
3. To allocate appropriate budget and teaching and administrative staff for proper and effective operation and maintenance of buildings and equipment provided under the Grant Aid.
4. To ensure prompt execution for customs clearance of the equipment imported to the county under the Grant Aid.
5. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of products and services under the verified contracts such facilities as may be necessary for their entry into the country and stay therein for the execution of their work.
6. To exempt Japanese nationals from custom duties, internal taxes including Value Added Tax (VAT/IVA) and other fiscal levies which may be imposed in the country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts.
7. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant Aid necessary for the execution of the Project.
8. To bear advising commissions for Authorization to Pay and payment commission to a Japanese bank for the banking services based upon the Banking Arrangement.

**Minutes of Discussions**  
**on**  
**the Basic Design Study on the Project for The Construction**  
**of Primary and Junior Secondary Schools in Maputo City**  
**in**  
**the Republic of Mozambique**  
**(CONSULTATION ON DRAFT REPORT)**

In October 2000, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a Basic Design Study Team on the Project for Construction of Primary and Junior Secondary Schools in Maputo (hereinafter referred to as "the Project") to the Republic of Mozambique (hereinafter referred to as "Mozambique"), and through discussions, site surveys, and technical examination of the results in Japan, JICA prepared the draft report of the study.

In order to explain and to consult the Mozambique side on the components of the draft report, JICA sent to Mozambique the Draft Report Explanation Team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Dr. Yuji Maruo, Technical Advisor for Implementation of Grant Aid Project, from 18<sup>th</sup> February to 23<sup>rd</sup> February, 2001.

As a result of discussions, both sides have confirmed the main items described on the attached sheet.

Maputo, the 23<sup>rd</sup> February, 2001

丸尾祐治

---

Yuji MARUO  
Leader  
Basic Design Study Team  
(Consultation on draft report)  
Japan International Cooperation Agency

*V. Juvane*

---

Virgilio Juvane  
Director  
Directorate of Planning  
Ministry of Education

*Samuel Miguel Modumela*

---

Samuel Miguel Modumela  
Director  
Directorate of Education of the  
Municipality of Maputo

## ATTACHMENT

### 1. Contents of the Draft Report

The Government of Mozambique agreed and accepted in principle the contents of the draft report explained by the Team.

### 2. Japan's Grant Aid Scheme

The Mozambique side understood the Japan's Grant Aid Scheme and the necessary measures to be taken by the Government of Mozambique as explained by the Team and described in Annex 4-6 of the Minutes of Discussions signed by both parties on 31<sup>st</sup> October.

### 3. Schedule of the Study

JICA will complete the final report after further study in accordance with the discussed items and send it to the Government of Mozambique around May 2001.

### 4. Other Relevant Issues

#### 4-1 Component of the Project

The Project will be composed of components described in Annex-1 when Japanese Government finally decides to implement the Project.

#### 4-2 Multi – Purpose Room

Mozambican side had requested Japanese side to include laboratory in the component of the Project in the previous discussion during the Basic Design Study. Upon the request, Japanese side added a description about multi – purpose room, which will be able to function as a science laboratory in future, in the draft report.

#### 4-3 Gymnasium

JICA is still considering on whether it is appropriate to add gymnasium as one of the components of Japan's Grant Aid Project or not. The result of the consideration will be described in the final report.

#### 4-4 Teaching Materials

Mozambican side requested to include some teaching materials in the component of the Project and requested letter with the lists of those materials was submitted to the Team. Japanese side will examine the appropriateness of the respective material in the request in terms of following criteria: adaptability to the curriculum, ability of the maintenance, availability of consuming materials, teacher's capacity and their teaching experience e.t.c. The result of the examination will be reflected in the final report.

#### 4-5 Allocation of teaching staff

The Ministry of Education should allocate sufficient number of teaching and administration staff at least fulfilling the numbers as listed bellow, especially science teacher, and make necessary budgetary arrangement to operate classes.

	Primary Schools	Secondary Schools
Senior Posts	5 Principals 10 Vice – Principals	2 Principals 4 Vice – Principals
Teaching Posts	188 New Teachers	48 New Teachers
Clerical Posts	5 Accountant 5 Receptionists 5 Typists and Clerks	2 Accountant 2 Receptionists 2 Typists and Clerks
Assistants	5 Security Guards 5 Cleaners	2 Security Guards 2 Cleaners

*mm*  
*VA*  
*S*

#### **4-6 Allocation of pupils**

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should allocate number of pupils properly among existing schools in the project district according to the comparative capacity of the respective schools.

#### **4-7 Land preparation measures**

(1) Removing

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should secure the land by removing the existing houses and structures at the following sites.

- Albazini
- Unidade 2

In case of that this removing will not be completed by October 2001, the content of the basic design at these sites will be reconsidered accordingly.

(2) Clearing, leveling and reclaiming

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should clear, level and reclaim land by December 2001

#### **4-8 Temporally classrooms**

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should secure temporally classrooms during the construction at the following sites.

- Costa do Sol
- Unidade 2

#### **4-9 Water and electricity**

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should provide facilities for distribution of electricity and water supply.

If those facilities are not ready before construction work start, the contents of design, especially design of the multi-purpose room, will be reconsidered accordingly.

#### **4-10 Maintenance of the schools**

Directorate of Education of the Municipality of Maputo should make necessary budgetary arrangement for maintenance of the schools and direct School Committees to deposit funds for maintenance of the schools.

#### **4-11 IVA (Imposto sobre Valor Acrescentado)**

Mozambican side will cover the IVA portion at every local transaction of procurement and every local contract.

### Annex-1 Component of the Project

School Name	District	Description		Number of Classroom
3 de Fevereiro (1)	4	ESG 1	New	12
		EP	New	14
3 de Fevereiro (2)	4	EP	New	14
Magoanine	5	EP	New	14
Albazini	5	EP	New	14
25 de Junho	5	ESG 1	New	12
Bagamoyo	5	EP	New	22
Cosat do Sol	4	EP	Rebuilding	14
Unidade 2	5	EP	Rebuilding	22

*By M*

VA



## 6. 事前評価表

1. 対象事業名
モザンビーク国 マプト市小中学校建設計画
2. 我が国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1) モザンビーク国では 1995 年から国家五カ年開発計画(1995-1999)を実施し、和平の確実な持続、安定した国家の構築、国民生活向上のための教育・保健医療・農村開発の推進と雇用創出を中心課題としている。これを受けて教育省では「教育セクター戦略計画 1999-2003」を策定し、基礎教育の機会拡大、教育の質の向上、拡大と向上を継続できる体制・財政の改善を重点課題としている。初等教育分野では、教育機会の拡大とともに、前期・後期課程の統合による施設・教員配置の合理化、連続したカリキュラムの採用による教育の質の向上が方策として挙げられている。</p> <p>(2) モザンビーク国では長く内戦の時代が続き、社会インフラの破壊や組織の弱体化、人材レベルの低下などを引き起こし、終戦後の現在でも社会経済発展の大きな支障となっている。首都のマプト市では経済的な理由や洪水被災民の流入により人口が増加しており、加えてない戦中に修繕や改修がされなかったため教室の傷み方が激しく教室不足の状況が他地域に比べて著しい。このためほとんどの小学校で三部制授業を余儀なくされ、授業時間が短くなったためカリキュラムの未消化や内部効率の低下を引き起こしている。</p> <p>中等教育の分野では経済の復興に伴い増大する中等教育修了者への雇用ニーズや、初等教育分野の整備に伴い増大する中学校への進学ニーズに対し施設が不足していることが問題となっている。</p> <p>(3) 当該国の社会経済事情については資料「モザンビーク国の社会経済状況」参照。</p>
3. 事業の目的等
<p>本協力事業の目的は 2003 年を目標年次として、マプト市郊外の 4,5 区の小中学校を整備することにより対象地域の教育環境を改善するとともに、中学校の就学生徒数の増大を図ることである。</p>
4. 事業の内容
<p>(1) 対象 マプト市 4,5 区</p> <p>(2) アウトプット 対象地域における小中学校の教育の質の向上および中等教育への就学機会拡大</p> <p>(3) インプット 7 小学校、2 中学校、計 138 教室の建設</p> <p>(4) 総事業費 概算事業費 10.13 億円 (日本国側 9.84 億円、モザンビーク国側 0.29 億円)</p> <p>(5) スケジュール 日本政府の無償資金協力によって実施される場合に必要となる工期は、詳細設計も含め 19 ヶ月が見込まれる。</p> <p>(6) 実施体制 モザンビーク共和国 教育省計画局 / マプト市教育局</p>

## 5. 成果の目標

### (1) プロジェクトにて裨益する対象の範囲及び規模

小学校生徒数	11,400人
中学校生徒数	1,920人
計	13,320人

### (2) 事業の目的 (プロジェクトの目的)を示す指標

対象地域における初等教育の質の向上

	2000年(=実施前)	2003年(=実施後)
三部制授業クラス数	3,381	2,787
三部制授業割合	95.08%	78.37%
一人あたり授業時間数	22.3時間/週	24.1時間/週

対象地域における中等教育の機会拡大

	2000年(=実施前)	2003年(=実施後)
生徒数	28,869	30,789
増加率	-	6.65%

## 6. 外部要因リスク

### (1) 教員の確保

初等教育におけるカリキュラムの連続性、施設・教員の効率化を目指して、2004年より前期・後期課程の統合が計画されている。これにより小学校213人、中学校60人の教員に加えて、校長・副校長、事務員、清掃員、警備員の増員が必要である。

### (2) 中学校理科教材・教員の確保

中等教育で必要な理科実験教育の実施に向けて実験機材・試薬・消耗品を調達・確保し、実験教育の可能な理科教員を確保する必要がある。

## 7. 今後の評価計画

### (1) 事後評価に用いる成果指標

- ・小学校の3部制授業の割合(%)
- ・中学校(ESG1)の生徒数(人)

### (2) 評価のタイミング

計画目標年次(事業終了年次 2003年)以降、事業評価を実施予定である。



## 7. 収集資料リスト

- 1 Anuario Estatístico 1998, Cidade de Maputo
- 2 Apoio Externo ao Sector da Educaçao, Ministerio da Educaçao
- 3 BOLETIM DA REPUBLICA, Publicaçao Official, No.22, Junho 1990
- 4 Calendario Escolar de 2000, Ministerio da Educaçao, Junho 1999
- 5 Development Credit Agreement (Capacity Building: Human Resources Development Project). WB. Jan. 1993
- 6 Development Credit Agreement (Education and Manpower Development Project), World Bank. Jun. 1988
- 7 Development Credit Agreement (Second Education Project), World Bank, Mar. 1991
- 8 Education Sector Strategic Plan 1999-2003, Ministry of Education, Oct., 1998
- 9 Education-Briefing Note, WFP, 2000
- 10 Educational Indicators, Primary Education, Ministry of Education, Planning Directorate. Sep. 1997
- 11 Escolas Construidas pelo Banco Mundial, Banco Mundo
- 12 Estatística da Educaçao, Aproveitament Escolar-1997, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao. 1998
- 13 Estatística da Educaçao, Aproveitament Escolar-1998, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao. 1999
- 14 Estatística da Educaçao, Aproveitament Escolar-1999, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao. 2000
- 15 Estatística da Educaçao, Levantamento Escolar-1998, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao. 1998
- 16 Estatística da Educaçao, Levantamento Escolar-2000, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao. 2000
- 17 Indicadores, Ministerio da Educaçao, Direcçao de Planificaçao, Maio 2000
- 18 Lines of Action for the Eradication of Absolute Poverty, Council of Ministers, Apr. 1999
- 19 LINK FORUM DE ONGs, Nov. 2000
- 20 LINK NGO FORUM
- 21 Mozambique em Numeros 1999, Instituto Nacional de Estatística
- 22 Mozambique, Economic growth and human development: National Human Development Report. UNDP. 1999
- 23 National Education Policy and Strategies for Implementation, Councils of Ministers, Aug. 1995
- 24 National Report of Mozambique, Ministry of Education, Directorate of Planning, April 1996
- 25 Noticias 20 de Outubro de 2000
- 26 Numero de escolas e alunos por Distrito e por classe, Ensino Privado/1999, Cidade de Maputo. Oct. 2000

- 27 Obras Financiadas Pelas ONG(s), MINED
- 28 Orçamento de Investimientos de 1999 por Níveis de Ensino, Ministério da Educaçao
- 29 Orçamento do Estado para o ano economico de 1998, volume II, Min. do Plano e Finanzas. Jan. 1998
- 30 Orçamento do Estado para o ano economico de 1999, volume II, Min. do Plano e Finanzas. Jan. 1999
- 31 Percentagem de alunos no 3ºturno, Cidade de Maputo - EP1 - 2000, MINED, Oct. 2000
- 32 Plano Curricular do Ensino Basico, Ministerio da Educaçao, INDE, Agosto, 1999
- 33 Project Appraisal Document on Education Sector Strategic Program(ESSP), World Bank. Jan. 2000
- 34 Projecçoes Anuais da Populazao por Provincia e Area de Residencia, 1997-2010, Mozambique
- 35 Resumo Nacional, Direcçao de Administraçao e Finanzas, Ministerio da Educaçao
- 36 Salas de aula - Total do Pais, Ministerio da Educaçao, 2000
- 37 Salas de aula segundo material de construcçao, Maputo, 2000
- 38 Understanding Poverty and Well-being in Mozambique, The First Assessment (1996-97). Dec. 1998

8. その他の資料- マプト市内既存校リスト(1/4)

No	学校名	生徒数			クラス数		シフト	教室数		教員数			生徒数/クラス		教員数/クラス		備考
		EP1	EP2	ESG1	ESG2	EP1/2		ESG1	仮設	EP1/2	ESG1	全教員	有資格	ESG1	有資格	全教員	
1区																	
01	A Luta Continua	1,741	450			36		3	18			41	39				
						10		-	-			13	13				
02	Especial no 2	124	7			15		2	15			20	19				
						1		-	-			3	3				
03	EP 1/2 Maxaquene	1,275				30		3	15			33	30				
	夜間					10		-	-			13	11				
						14		-	-			-	-				
04	3 de Fvreiro	2,304				39		3	13			39	34				
						10		-	-			15	14				
05	Coop	1,548				27		3	9			26	23				
	7 de Setembro	976				17		3	9			19	18				世銀
	夜間					7		-	-			12	12				
						7		-	-			13	12				
07	Malhangalene					24		3	*			25	23				
	夜間					440		-	-			12	8				
08	25 de Setembro	2,231				45		3	15			47	44				
	夜間					27		3	9			*	*				
09	Filipe S. Magaia	1,438				28		3	15			28	28				
	夜間					11		-	-			15	13				世銀
10	16 de Junho	1,267	511			11		-	-			19	18				
	夜間					18		3	6			19	18				
11	Maxaquene Khovo	855				24		3	25			28	26				
	夜間					981		-	-			-	-				
12	Maxaquene		754			15		-	-			18	18				
	夜間					30		3	13			30	27				
13	Alto Maé	1,600	485			10		-	-			14	12				
	夜間					13		-	-			-	-				
14	Bé-a-Bá	990				18		3	6			19	18				
	夜間					42		3	8			45	39				
15	C.de Ed. Munhuana	1,438	742			15		-	-			16	15				
	夜間					33		3	19			35	35				
16	Av. Ed. Mondlane	1,663	740			14		-	-			17	16				
	夜間					27		3	35			45	42				
17	Polana		1,229			9		-	-			-	-				
	夜間					26		-	-			24	24				
						68		2	43			-	-				
18	Josina Machel					32		-	-			-	-				
	夜間					1,677		-	-			-	-				
						1,350		-	-			-	-				
19	Franc. Manyanga					43		2	40			-	-				
	夜間					40		-	-			-	-				
						20		-	-			-	-				
20	Estrela Vermelha		1,618			37		3	36			38	38				
	夜間					2,078		-	-			-	-				
						512		-	-			22	19				
						1,342		-	-			-	-				
21	Catembe	679				16		3	7			14	14				NGO

8. その他の資料- マプト市内既存校リスト(2/4)

No	学校名	生徒数			クラス数		シフト	教室数		教員数			生徒数/クラス		教員数/クラス		備考	
		EP1	EP2	ESG1	ESG2	EP1/2		ESG1	仮設	EP1/2	ESG1	有資格	全教員	有資格	全教員	EP1/2		ESG1
22	Guaxene	518				14		7		10	9							
23	Saul Filipe Tembe	560	527			10		9	2	6	6							世銀
	夜間		139			4		-		7	5							
24	Chamissava	589				15		3		11	10							NGO
25	Vilada Marinha	544				14		3		11	11							
26	E. S. de Catembe			274		7		2		-	-							
27	Inhaca Malhangalene	309				6		2		*	*							
28	Inhaca Noge	421				9		3		*	*							
29	Inhaca Sede	363	198			8		2		*	*							
				52		5		-		7	3							
		23,433	12,059	15,360	5,839	758	407	-	400	2	824	756	361	297	47	38	1.09	0.89
1区小計																		
2区																		
01	Lhanguene Plioto	1,517	527			30		3		15	18							
02	Unidade 13	2,685				10		-		11	11							
03	24 de Julho	1,361	447			44		3	12	46	44							
	夜間					30		3	10	33	32							
04	EP2 Aeroporto		560			9		-		18	17							
05	Minkadjuine	1,229				16		2	4	17	14							
			348			24		3	10	25	22							
06	Chamculo	912				6		-		8	8							
07	Mista de Chamculo	1,407	868			16		3	17	17	15							世銀
08	Unidade 11	969				26		3	3	28	25							
09	Unidade 16	686				16		-		20	19							
10	Lhanguene Centro	1,158	640			18		3	5	19	19							
			1,714			12		3	4	13	13							
11	25 de Junho	867				27		3	10	26	24							
						16		-		18	17							
12	Amilcar Cabral	1,149				18		3	18	18	18							
13	Munhuana	780	805			36		-		41	36							
						21		3	7	19	18							
14	21 de Outubro	1,675				15		1	15	14	14							
15	Aeroporto	957				15		-		20	16							
16	Unidade 7	1,335				18		3	5	17	15							
17	Unidade 10	2,324	670			24		3	8	27	24							NGO
						37		3	15	38	29							
18	Unidade 18	1,751	493			12		-		16	12							
	夜間		504			30		3	14	31	29							
19	Unidade 19	1,798				12		-		12	11							
						32		3	11	33	26							世銀
20	E. S. Lhanguene			2,435				2	22	-	-							
	夜間			1,213				-		-	-							
2区小計		24,560	7,576	3,648		616	44	-	217	653	579	61	59	52	83	1.06	1.39	

8. その他の資料- マプト市内既存校リスト(3/4)

No	学校名	生徒数			クラス数		シフト	教室数		教員数			生徒数/クラス		教員数/クラス		備考
		EP1	EP2	ESG1	ESG2	EP1/2		ESG1	仮設	EP1/2	ESG1	有資格	全教員	有資格	ESG1	EP1/2	
3区																	
01	Av. das FPLM 夜間	2,659	977			45	3	22		47	47						世銀
			1,073			16	-	-		22	20						世銀
02	IV Congresso	2,073				36	3	10	2	36	34						世銀
03	Unidade 22	1,919				30	3	10		32	28						世銀
04	Unidade 23	948				17	3	5		18	17						
05	Maguiguana	2,161				30	3	10		31	31						
06	Kurhula	2,289	632			38	3	18		44	38						
	夜間		1,032			11	-	-		20	17						
						17	-	-		19	9						
07	Polana Caniço-A	3,072	575			42	3	19		42	42						NGO
						10	-	-		14	13						
08	Unidade 24	1,946				30	3	10		36	34						世銀
09	Unidade 25	1,839				30	3	10		32	31						世銀
10	Polana Caniço-B	3,569				49	3	18		49	49						世銀
11	Maxaquene-B	1,645				27	3	-	8	28	28						
12	Maxaquene-C	2,158				30	3	8		32	25						
13	4 de Outubro	2,125				33	3	11		16	16						世銀
14	Noroeste 1			3,148			3	37		-	-						NGO
	夜間			2,074						-	-						
15	Noroeste 2		4,212			78	3	35		76	69						
	夜間		1,655			28	-	-		27	23						
3区小計		28,403	10,156	5,222		613	-	223	10	648	589	94	94	63	51	1.06	0.91
4区																	
01	Hulene	1,541				27	3	10		27	22						
02	Mavalane-A	2,121	668			33	3	12		36	28						
	夜間		285			6	-	-		8	5						
03	Unidade 8	1,407				24	3	10		28	26						世銀
	夜間		537			9	-	-		14	12						
			383			7	-	-		12	8						
04	12 de Outubro	2,405				33	3	11		35	32						
	夜間		870			16	-	-		20	18						
			567			10	-	-		19	16						
05	Mavalane-B	2,264				33	3	10	1	30	24						世銀
06	Triunfo	1,860				30	3	11		26	23						
			517			9	-	-		9	6						
07	Unidade 31	965				15	3	5		16	16						
08	C. Ed. De Chiango	344				7	2	4		8	7						
09	Costa do Sol	539				11	3	5		13	11						
10	Laulane	5,341				67	3	21	5	60	50						
	夜間		878			15	-	-		13	13						
			378			6	-	-		10	10						
11	C. Luta L. Nacional	1,884				33	3	7		34	34						
12	Unidade 27	1,504				24	3	8		18	18						
13	Albasine	1,836				30	3	10		21	19						
14	Mahotas	3,379				57	3	16	2	45	39						
			522			9	-	-		9	9						
15	9 de Agosto	3,279				49	3	14		38	36						NGO

8. その他の資料- マプト市内既存校リスト(4/4)

No	学校名	生徒数				クラス数		シフト	教室数		教員数				生徒数/クラス		教員数/クラス		備考	
		EP1	EP2	ESG1	ESG2	EP1/2	ESG1		仮設	EP1/2	全教員	有資格	ESG1	有資格	ESG1	EP1/2	ESG1	EP1/2		ESG1
16	Força-do Povo 夜間	2,265	957 375			41 18 7		3	23	43 27 13	39 19 13									
17	Hulene-B	2,264		876		33		3	10	30	24	1							世銀	
18	10 de Nobembro 夜間		884 430			16 8		3	8	18 23	16 18									
19	E. S. Ed. Mondlane 夜間			861 422		24 12		2	12	-	-									
4区小計		35,198	8,251	2,159		693		-	207	714	620	10	44	63	54	1.03	2.00			
5区																				
01	Jardim 夜間	2,206	1222 1,079			34 18 15		3	15	34 22 29	34 20 24									
02	Unidade 5	1,551				24			8	27	26									
03	Unidade 6	2,106	450			37 8		3	15	38 9	36 8									
04	Unidade-B	1,942				33		3	12	35	28									
05	Inhagóia	3,262				60		3	20	60	54								世銀	
06	25/Junho Rua 7 夜間	824	1002 637			14 11		2	11	15 23	13 21								世銀	
07	Unidade 2	1,623				30		3	5	30	20	5								
08	Unidade 30	2,896				43		3	?	46	43									
09	Bagamoyo Maputo	3,179				48		3	16	49	44								世銀	
10	Ep2 de Bagamoyo 夜間		1,895 916			34 14		3	15	42 32	40 32								世銀	
11	26/Junho Rua 4	1,807				30		3	10	32	31									
12	Infuene Benfica	847	817			16 13		3	13	16 15	13 15									
13	Malhazine	2,864	795 901			44 15		3	17	46 26	45 25									
14	1 de Junho	3,219		853		49		3	6	50	43	5							世銀	
15	Unidade 29	2,957				45		3	15	47	41									
16	Zimpeto	1,693				31		3	2	27	25	4								
17	Maganine	2,311				40		3	13	35	33								NGO	
18	Unidade-A	1,878				30		3	10	31	30								世銀	
19	Mubukuane Volante 6		1,722			30		3	15	33	24									
20	E. S. Malhazine			1,627		37		3	20	-	-								世銀	
21	Wiriyamo	1,596				26		2	10	3	27	26							NGO	
22	19 de Outubro	1,144				20		2	10	18	16									
23	Anexa 19 de Outubro	2,440				35		3	-	10	*								教員10+派遣教員19	
5区小計		42,345	11,436	2,480		876		56	258	931	832	94	65	61	44	1.06	1.68			
合計		153,939	49,478	28,869	5,839	3,556	650	-	1,305	3,770	3,376	690	559	57	44	1.06	1.06			

8. その他の資料-住民集会結果 (1/2)

No	バイロ名(要請校)	参加	職業	月収	小学校	中学校	子供/家庭	入学年齢	小学校入学	中学入学	通学順序
1	25 de Junho (EP1)	10	日雇い労働者 小商売 60%失業	600,000 700,000	右400m 左900m	2区4.5km 5区5-6km 遠い、交通費	5-6人	6歳 空きかなければ遅くなる	困難 空きなければあきらめ	全日制15歳まで以上では夜間市が学校割振り	平等
2	Bagamoyo (EP1)	11	職人(石工、木工、電機) 50%失業	いろいろ	300m	4km	10人ぐらい	6歳、年齢優先6,7,8	困難 学校少ない不公平感 空きの数発表	困難	平等
3	Magoanine (EP2)	26	日雇い労働 職工 市内で仕事 60%失業	580,000	EP1 3km(45分) EP2Makasini 7km(2時間)	Makasini 7km(2時間)	5人以上	6歳	困難 空きがない	困難	男優先 女結婚、外へ
4	Albazine (EP2)	10	農業、人夫 職工	600,000	EP1, 3km EP2, 10km Hitalkura	20km Eduardo Mondlane	7人ぐらい	6歳	困難 EP2あきらめ	遠く通学できない	平等 全員行くべき
5	3 de Fevereiro (ESG1)	13	職工 養鶏	700,000 800,000	Laurani, 5km Magoanine 9-10km	12km	5-6人	6歳、過ぎると優先度下がる	困難 空きがない	困難	平等

教育費

費目	小学校	中学校
授業料(社会厚生基金)	50,000-80,000	125,000 -400,000
制服	150,000-250,000	375,000
教科書	無料、貸与	500,000
ノート	25,000	50,000
試験料	2,000-5,000	50,000
交通費		1,440,000
カバン	75,000-120,000	200,000
靴	100,000-250,000	350,000
印紙代		120,000
合計	402,000-730,000	3,210,000 -3,485,000
円換算	(¥2,800-¥5,100)	(¥22,500 -¥24,400)

調査者コメント

\* 学校数、教室数が少なく児童の入学が小・中学校とも非常に困難である。

\* そのため、

\* 机、椅子が不足している。

\* 父兄は失業

\* 従って、児童を学校へ行かせることは父兄にとっては大きな負担となっている。

\* そのような状況

\* 父兄の意識としては就学への男女差別は少ない。

\* 父兄は学校教師を尊敬している。

\* 学校の維持

8. その他の資料-住民集会結果 (2/2)

No	バイロ名(要請校)	学校/親	学校費用	父兄会	維持管理	先生	問題,特記事項
1	25 de Junho (EP1)	負担重しい	300,000 1,000,000	3/年 7/年、ｸﾞｽ	なし	尊敬	学校少ない,教室不足 空気がない,仕方がない 交通費高い,6000/day
2	Bagamoyo (EP1)	負担重しい	375,000	2/年 主に母	なし	尊敬	学校少ない 交通費,6000/day
3	Magoanine (EP2)	負担重しい	700,000 800,000	2/年 4/年、ｸﾞｽ	なし	尊敬	2000,6月当地へ、元へ戻れない 元居住地 8-16km Maguanini novo 8,556人 仕事なし, EP1以降の学校ない
4	Albazini (EP2)	経済的 苦しい	500,000	3/年 4/年、ｸﾞｽ 3/4親出席	なし	尊敬	EP2遠いので諦める 中学校通えない 机少ない
5	3 de Fevereiro (ESG1)	負担重しい 学費計算 すると気絶	400,000 中学校 2,000,000	3/年 4/年ｸﾞｽ	なし	尊敬	建設中断建物、臨時の教室 当バイロには小学校ない 警察官多い